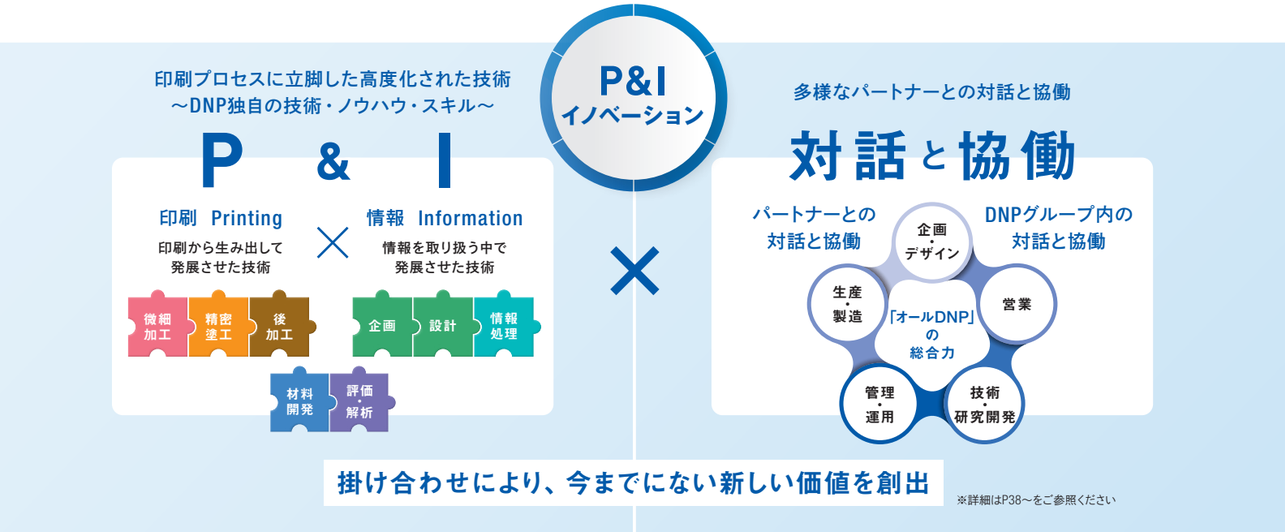
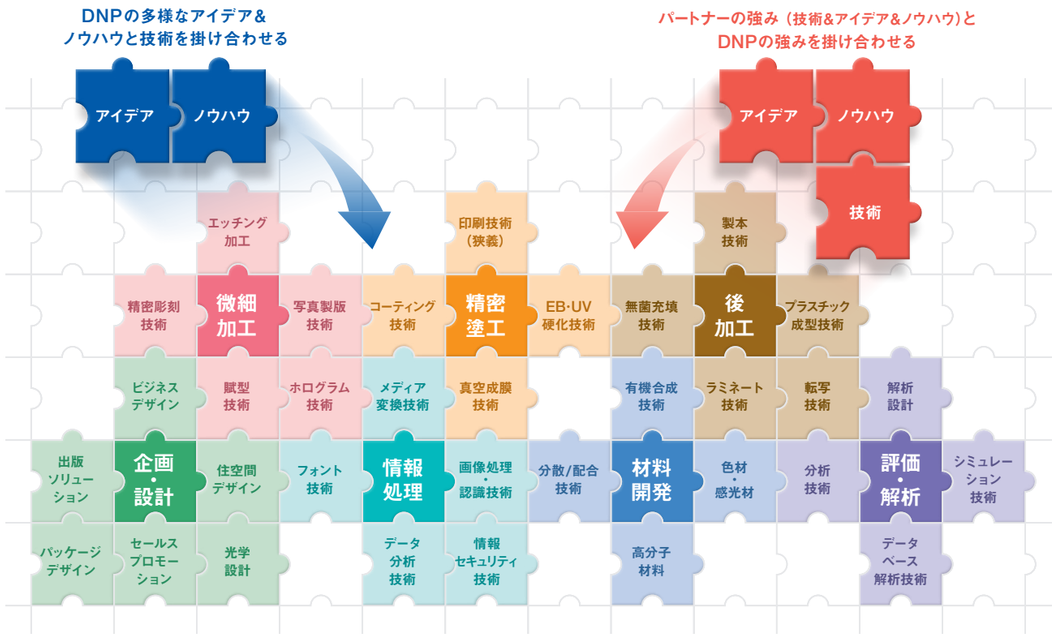
強みとビジネスモデル

「P&Iイノベーション」で DNPにしか生み出せない価値を創出します

DNPは、印刷プロセスに立脚する技術群を常に最先端のものに磨き、常識にとらわれずに応用・発展させることで、新しい価値を創出しています。アナログとデジタル、リアルとバーチャル、モノづくりとサービスなど、異なる領域を柔軟に組み合わせることで、「印刷：Printing」と「情報：Information」の強みを持つ独自の技術革新を進めています。DNPが保有する多様な技術の掛け合わせと、多様なパートナーとの連携をさらに強化し、「対話と協働」を通じて、人と社会が求める多様な価値の提供につなげていきます。



※詳細はP38～をご参照ください

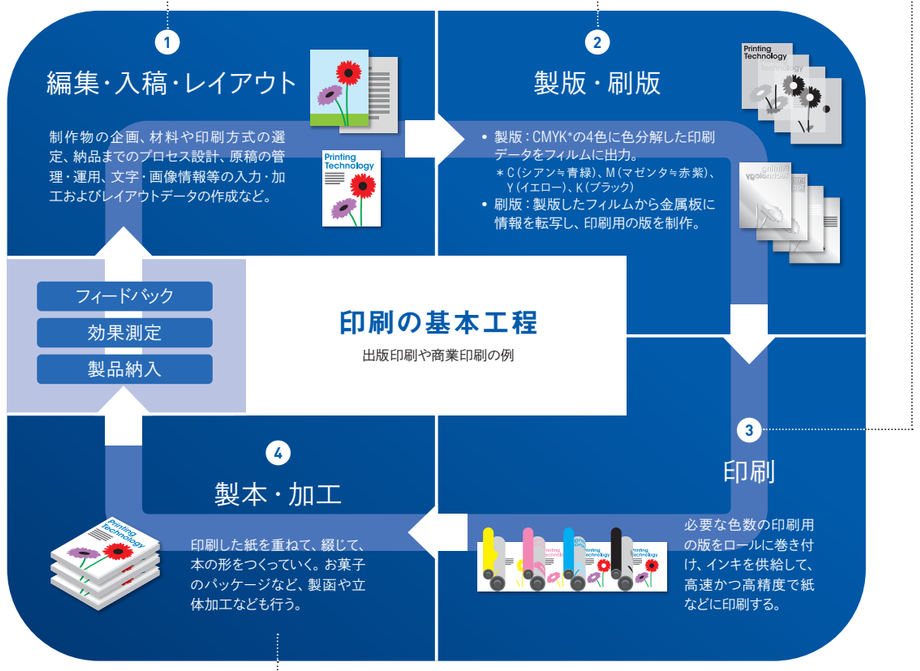


印刷プロセスで培った技術

めざすアウトプットに適したプロセスを企画・設計します。DNPは大量の文字・静止画・動画・音声等の情報を常に扱っており、データフォーマットや色調を整え、加工や保管も行います。大容量データを安全かつ適切に取り扱うノウハウを高め、各種重要情報の加工・解析、セキュリティ技術へと拡げています。

印刷されたインクの網点が肉眼で識別しにくいように、印刷プロセスでは非常に微細な加工を施しています。この技術を発展させて、金属やガラス、樹脂などの基材に対する微細な加工を可能にしました。最先端のエレクトロニクス製品の数々や、ホログラムなどによる偽造防止・セキュリティ分野などに応用しています。

紙だけでなく、プラスチックフィルムや金属・ガラスなどの基材表面に、単層または多層で、さまざまな特性を持った材料の塗布膜を均質・均一に形成する技術です。光学特性、バリア性、耐熱性など、多様な機能を付与できるため、包装材や生活空間製品のほか、写真プリント用部材や電池用部材、光学フィルムなどに広く応用、展開しています。



印刷後の製本など、各種加工を施す工程から派生した技術群です。最終製品の使用目的に合わせ、使い勝手のよいカタチに整える技術で、型抜きや組み立てなどの立体加工にも優れています。食品・飲料・日用品等のパッケージや、内容物の無菌充填等のシステム開発、各種製品の検査・計測・解析などにつながっています。

新たな材料を合成あるいは分散・混合して、インクや接着剤、感光性材料、コーティング材料などを設計・製造する技術です。印刷精度が緻密化し、製品が高機能化・多様化するなかで最大の効果を得るため、DNPは材料から開発しています。

製造プロセスを解析し、品質の安定化や生産性の向上、作業環境の改善などにつなげる技術です。最新のセンシング技術と理論を組み合わせ、製品のクオリティを左右する材料・工程の特定、機能・性能を発現させるメカニズムの解明などを行っています。